



アラ かん新生活

ふちんかん

いつの間にかアラかんと呼ばれる年代になったが、この年になって生活をガラリと変えることにした。この連載ではその変容を書き記してみたいと思う。

第5回 新生活の理由

これまで生活や通勤での移動手段をガラリと変えた話をしてきた。今回は生活変容の理由とその過程について記してみたい。

新生活の理由

親しくない人には、地球環境を考えてとか、金欠とか。それらしい理由を語るわけだが、ココでは正直に申します。

私事ですが離婚いたしました。原因は私の不徳のいたすところ です。

決定したのは今年の夏。二人の娘が卒業する今年の3月までは同居することにした。その間にちまちまと手続きや新生活の準備をしていたというわけだ。移動手段の変更もその一環だったのである。

住居の変更

これまで住んでいたマンションは、相方様に所有権移転をすることになった。ちなみにウチの場合、贈与税はかからない例だったが、けっこう高額な登録免許税はかかった。この辺の不動産関連の手続きは4度目なので慣れたものである。

さて、次は私の住処を探すことになる。昨年9月以降ネットの不動産情報を漁りはじめた。選択の軸としては、まずロケーション、次に家賃、そして条件・設備である。

賃貸物件選び

ロケーションは、日生中央駅近くにある職場へ公共交通機関で通えること、そして生活に便利な場所という条件は外せない。そこで川西能勢口近辺から北のエリアに絞って賃貸不動産一括サイトでスクリーニングした。ちなみに利用したサイトに、契約した物件等のレビュー（かなり長文）を書くことで1ヶ月分の家賃補助をいただいた。感謝。



アラクン 新生活



次に家賃である。勤務先から半額の補助が出るが、それも上限がある。そこで家賃上限5～6万もスクリーニングの条件に追加。

最後に設備・内装等の条件であるが、運び込む書籍や趣味のグッズが大量にあるので、できれば広い部屋や収納があるもの、2DKとか40㎡以上の広さもスクリーニングの条件に追加。

こんなムシの良い物件で上がってくるのは、まあ事故物件である。よく専門サイトをチェックした。私は霊的な存在は信じないというスタンスながら、心のどこかで気味悪さを感じるのも事実である。それに安いなりの理由は知っておきたい。もう一つ、団地の高層（4・5階）も上がってくる。仕切りを取っ払ったり、フローリング仕様になっていたり、リノベーションされた物件も多い。しかし私は腰痛持ちである。発症時に2階より上に上げられる自信が無いので、魅力的であるが却下である。

家賃から考えると、広さを取ると新しい物件はムリなので、築年数や内装は考慮しないことにした。また駅やバス停からの距離は体調や天候不良時を考えると短い方が良い。

こういった諸条件を満たす物件は、数件である。不動産会社を回って何件か内見したが、けっきょく第1候補であった以下の物件に決定した。

□ケーション

- ・川西能勢口駅から2 km
- ・バス停徒歩0分（目の前）
- ・バス停は多くの路線が通るメインルート

家賃

- ・5.5万（後の交渉で5万） 共益費なし
- ・敷金・礼金1ヶ月 仲介会社所有物件のため仲介手数料なし

設備・内装

- ・築50年 分譲マンション（店舗付き住宅の住居部分の切り貸し）
- ・2LDK 67.56㎡
- ・都市ガス・市水道・関西電力
- ・内装・設備は現状渡し（リノベ自由）

仲介会社が個人経営の会社のためかフットワークが悪く、他の不動産会社からの引きは少ないようである。そういう理由で9月以降ずっとスクリーニングで上がっていた物件が冬にも残っていた。ただ春の引っ越しシーズンまで残っている可能性は低いと判断し、正月明けの2度目の内見で契約することを決めた。事情を理解してもらい、契約は3月から。鍵はもらい、荷物の運び込みや内装の改良などの許可をもらった。引っ越し荷物はクルマがあるうちにチマチマと運び込むことにした。



今回は「新居作り」をお送りします



連載のページ

